

旭化成 プラノバ 新工場が完成

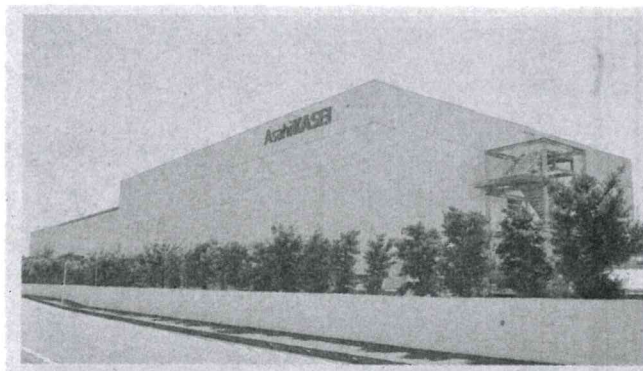
旭化成メディカル 生産能力を拡充

旭化成メディカル(本社・東京都、住吉修吾社長)が延岡市旭町に建設していたプラノバ用セルロース製中空糸の新たな紡糸工場が完成し、きょう竣工(しゅんこう)式が行われた。プラノバは、バイオ医薬品や血漿(けっしょう)分画製剤などを製造する際の最終工程に用いられるウイルス除去フィルター。世界的な需要の高まりから、プラノ

バを構成する中空糸の生産能力拡充のため昨年3月から工事に入っていた。新工場は鉄骨2階建てで延べ床面積5600平方メートル。年4万平方メートルの中糸生産能力を持つ。同社は延岡と大分に既にプラノバに関する工場を有しており、合計生産能力は年13万平方メートルになるという。

竣工式には関係者ら約70人が出席。テープカットの後、住吉社長は「プラノバは誕生から30年以上経過しているが、現在もなお旭化成グループの成長をけん引する主力製品のひとつ。延岡に起源を持つこの技術が世界の医薬、医療の発展に貢献していることあいさつした。同社は、新工場の稼働に合わせて地元を中心に40人の新採用を実施。今後も増産に合わせて増員していくという。同工場

は来月から約1年間におよぶ試運転、品質確認作業に入る予定で、来年8月からの商業生産開始を目指す。



完成したプラノバ用中空糸の新たな紡糸工場 (延岡市旭町)



テープカットする住吉社長(左から2人目)

TOWN

片山さん 会見

10月12日
天下一新能

「同じ一つの夢を持ち」23回目



また会を挟み、同新能に出演する市内在住の小学4年生〜高校3年生9人を直接けいこその様子を公開した。

演目の一つ能「海士」(あま)では、藤原房前(ふじのむね)大臣役の子方(こなた)を下沖美乃莉さん(西階中1年)が務める。小学3年生の時から同新能に毎年出演しており、子方は今回初めて。この日は片山さんとの熱の入った対ひのけいに臨んだ。

10月12日に延岡市の延岡城址(じ)二の丸広場で行われる「第23回のべおか天下一新能(てんがいちたきぎのう)」を前に、同市の川中コミュニティセンターで9日、同新能をプロデュースする観世流能楽師シテ方・片山九郎右衛門さんが会見を開き、演目の見どころとともに「おひのけいばなへほかの出演者も皆、同じ一つの夢を持ち、格段の配慮をもって毎年集まってきてくれている。そんな思いのまま23回目を迎えられることをとてもうれしく思う」などと思いを語った。

「緊張しています。もっと大きな声を出せるように、高い音と低い音の違いをしっかりと出せるように頑張りたい」と美乃莉さん。片山さんは「数往続けて出演している子どもが多く、順調に育ってきてくれている。われを忘れて体からほほしるものを出し切ったとき、もっとすごい舞台になる。それが子どものパワーであり、子方を使え能の面白さ。楽しみにしている」と語った。



片山さんとのけいこに臨む、能「海士」で子方を務める下沖美乃莉さん(右)

それぞれ舞う。子ども8人による連吟「船弁慶キリ」も披露される。

座席より見やすくチケット販売中
無料シャトルカーを運行

「第23回のべおか天下一新能」は10月12日午後5時30分から、延岡市の延岡城址二の丸広場で行われる。NPO法人のべおか天下一市民交流機構(松下安理理事長)主催。雨天時は同市東浜砂町の延岡総合文化センターに会場を移す。日時に変更はない。

出演は片山さんのほか、大蔵流狂言師の茂山七五三(しむ)さん、同じく大蔵流狂言師の茂山逸平さん。

演目は2010年(第14回)以来2回目の公演で、今回は「赤頭三段芝舞」あかがしらさんだんのみ「の特殊演出となる能「海士」、七五三さん逸平さんの親子共演による狂言「魚説経(うおせいきょう)」、現在の宮崎市を舞台として、同新能では初上演となる能「景清(かげきよ)」。

「海士」は母と息子、「景清」は父と娘の、ともに親子の再会と情愛の物語。「魚説経」は魚の名前尽くしの言葉遊びを面白がる物語。

同新能では毎回、延岡市に残る内藤家旧蔵の能面が使用されており、城山城址の千人殺(ちのりぞ)の石垣を背景に、幽玄の世界へといきまう。同機構事務局によると「当日は小望月(こもちづき)ほほ満月のお月見も楽しめそう」という。

今回は、より見やすくするため座席数を減らし、緩やかな傾斜で、間隔を広げていすを配置する。また、高齢者も足の不自由な人にも安心して会場に足を運んでもらうため、今回初めて南側宮城口(市中小企業振興センター前)から三の丸まで無料のシャトルカーを運行する。

チケットは指定S席1万円、指定S席8000円、自由A席5000円。延岡総合文化センター、同市文化課市役所南開館などで扱っている。自由A席に限り「チケットぴあ(PCカード4959999)」で購入できる。

なお、はがき、ファクス、メールでの申し込み